

博物館実習 I の受講予定者の皆さんへ

博物館実習 I は Zoom を使ってオンラインで開講します。履修登録を行い、Google Classroom に登録の上、参加してください。

Zoom の URL は、Google Classroom でお知らせします。

以下の 3 回を予定しています。

5 月 15 日（土曜） 10:00-12:00

第 1 回 導入

5 月 29 日（土曜） 10:00-12:00

第 2 回 東北大学総合学術博物館

6 月 12 日（土曜） 10:00-12:00

第 3 回 テキサス大学ほか

昨年 2 月に始まった新型コロナウイルス感染症の拡大は、現在 2021 年 4 月 1 日、仙台においても“第 4 波”とされる新規感染者の増加が続いています。この状況への対応として東北大学では 4 月 1 日より警戒レベルを 2 から 3 へと上げました。この状況を考慮し、博物館実習 I をオンライン授業として実施することとしました。

しかしながら、博物館実習 I ではオンライン授業を、本来の授業の代替というようには考えておりません。現代社会は、コロナ拡大以前から、いわゆるデジタル化やインターネット、SNS など情報環境の大きな変革期に入っていました。コロナ拡大により変革のスピードが加速されているに過ぎません。その傾向は、たとえコロナ感染が収束したとしても、ますます加速すると予想されています。

ミュージアムの主要な機能のひとつとして社会における学術的な情報共有があります。例えば、ミュージアムは、生物の基本的な単位である“種”の定義となる模式標本を保管し、標本の比較のための閲覧や情報提供を担っています。ところが、生物によっては標本が微小とか、壊れやすいなどの理由により、閲覧が難しい場合があります。そのような種については、詳細な画像や模型によって標本情報が提供されることがあります。そのため、最近では、実物標本の代わりとなるデジタル標本が提案されています。

すなわち、ミュージアムにおいても、ミュージアムに來ない利用者への情報提供の手段として情報環境の変革が注目されているといえます。また、将来、ミュージアムの学芸員を志す皆さんにとって、ミュージアムのデジタル化は重要なテーマのひとつといえます。そこで、博物館実習 I では、この機会を利用して、昨年度よりミュージアムにおけるデジタル化を考

えてきました。今年度も、引き続き同じテーマについて考えていきます。

東北大学総合学術博物館 佐々木 理